

おぢや

市議会だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 88

30. 4.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



Luv Dance Movement サークル団体 ラブダンスムーブメント

キッズダンサーとしてプロのアーティストのステージに立ったり、「地方から第一線で活躍できるダンサーの育成」を念頭に活動中。

未就学児から小学生は37人。日々汗を流しています。

ヒップホップダンスを通じて、自分を表現すること、仲間と一緒に作品を創る喜びを感じられるのも魅力のひとつ。

縦、横の繋がりを大切に、その中で個々が輝ける場所がラブダンスムーブメントです。

- 第1回定例会議決結果
..... P 2～3
- 常任委員会報告 P 3～5
- 一般質問..... P 5～9
- 議会日誌..... P 10
- 雪あかり、編集後記..... P 10

— 主な掲載内容 —

第 1 回 定例会 議決結果 (2月27日から3月20日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果		
条 例	議案第 11 号	小千谷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	全会一致	原案可決	
	議案第 12 号	小千谷市妊産婦医療費助成に関する条例の制定	//	//	
	議案第 13 号	小千谷市情報公開条例の一部改正	//	//	
	議案第 14 号	小千谷市個人情報保護条例の一部改正	//	//	
	議案第 15 号	小千谷市行政手続条例の一部改正	//	//	
	議案第 16 号	小千谷市職員の退職手当に関する条例等の一部改正	賛成多数	//	
	議案第 17 号	小千谷市手数料条例の一部改正	全会一致	//	
	議案第 18 号	小千谷市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正	//	//	
	議案第 19 号	小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	//	//	
	議案第 20 号	小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部改正	//	//	
	議案第 21 号	小千谷市国民健康保険税条例の一部改正	//	//	
	議案第 22 号	小千谷市国民健康保険条例の一部改正	//	//	
	議案第 23 号	小千谷市国民健康保険給付準備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正	//	//	
	議案第 24 号	小千谷市介護保険条例の一部改正	//	//	
	議案第 25 号	小千谷市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正	//	//	
	議案第 26 号	小千谷市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正	//	//	
	議案第 27 号	小千谷市後期高齢者医療に関する条例等の一部改正	//	//	
	議案第 28 号	小千谷市企業立地促進条例の一部改正	//	//	
	議案第 29 号	小千谷市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正	//	//	
	議案第 30 号	小千谷市道路占用料等徴収条例の一部改正	//	//	
	議案第 31 号	小千谷駅前広場条例の一部改正	賛成多数	//	
	予 算	議案第 1 号	平成30年度小千谷市一般会計予算	//	//
		議案第 2 号	平成30年度小千谷市国民健康保険特別会計予算	全会一致	//
		議案第 3 号	平成30年度小千谷市介護保険特別会計予算	賛成多数	//
		議案第 4 号	平成30年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算	//	//
		議案第 5 号	平成30年度小千谷市工業団地事業特別会計予算	全会一致	//
		議案第 6 号	平成30年度小千谷市ガス事業会計予算	//	//
		議案第 7 号	平成30年度小千谷市水道事業会計予算	//	//
		議案第 8 号	平成30年度小千谷市工業用水道事業会計予算	//	//
		議案第 9 号	平成30年度小千谷市下水道事業会計予算	//	//
		議案第 33 号	平成29年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算 (第4号)	//	//
議案第 34 号		平成29年度小千谷市工業団地事業特別会計補正予算 (第1号)	//	//	
議案第 41 号		平成29年度小千谷市一般会計補正予算 (第9号)	//	//	
その他	議案第 10 号	専決処分 (平成29年度小千谷市一般会計補正予算 (第7号))	//	承認	
	議案第 35 号	損害賠償の額の決定	//	原案可決	
	議案第 36 号	字の変更	//	//	
	議案第 37 号	小千谷市財政調整積立金の処分	//	//	
	議案第 38 号	定住自立圏形成に関する協定の変更	//	//	
	議案第 39 号	小千谷市営土地改良事業 (災害復旧) の施行	//	//	
発 議	議案第 40 号	小千谷市教育長の任命 [松井周之輔氏]	賛成多数	同意	
	発議案第 1 号	高速バス十日町-新潟線の存続を求める意見書	全会一致	原案可決	
	発議案第 2 号	日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書	賛成多数	//	
請 願	請願第 1 号	高速バス十日町-新潟線の存続を求める請願	みなし	採 択	

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

議員賛否の状況 （採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	森本恵理子	住安 康一	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	上村行雄	内山博志	佐藤隆一	長谷川有理	阿部正行	久保田陽一	山賀一雄	田中 淳	本 田 剛	久保田久栄	風間 順一
議案第1号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第3号	//	13	2	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第4号	//	13	2	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第16号	//	11	4	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	○	○	○
議案第31号	//	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
発議案第2号	//	11	4	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	×	×	×

※ ○は賛成、×は反対、議長（田中淳）は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案11件について、9件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、議案11件全てを原案の通り可決すべきものと決しました。また、請願1件については採択すべきものと決しました。

○議案第13号 小千谷市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は行政機関の保有する個人情報に関する法律の改正に伴い、情報公開にかかる所要の改正を行うものです。

○議案第14号 小千谷市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は行政機関の保有する個人情報に関する法律の改正の内容を踏まえて、新たに指紋等の身体的特徴やマイナンバー等の個人識別符号や、人種、病歴などにより差別や偏見等の不利益が生じないよう配慮すべき要配慮個人情報等の定義を加えるほか、法律の規定に準じて所

要の改正を行うものです。
○議案第15号 小千谷市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は行政手続法の改正により、法令違反の事実を発見した場合に是正のための処分を求めるときの手続や、法律の要件に適合しない行政指導を受けたと思われる場合に行政指導の中止等を求める手続が定められたことから、これに準じて条例を改正するものです。

○議案第16号 小千谷市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
 本案は国家公務員退職手当法が改正され、これに準じて退職手当額の引下げを行うとともに、雇用保険法の改正に伴い失業者の退職手当にかかる規定の改正を行うものです。

○議案第17号 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、消防本部関係の手数料の一部を改正するものです。

○議案第32号 平成29年度小千谷市一般会計補正予算（第8号）について

本案は国や県の補正予算により実施する事業に係る経費のほか、緊急を要する経費についての予算の補正で、歳入歳出それぞれ6873万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ184億5981万2千円とするものです。

○議案第1号 平成30年度小千谷市一般会計予算について
 本案は対前年度比0.2%増の歳入歳出それぞれ173億2千万円とするものです。主たる事業は、第五次総合計画・総合戦略の推進、中心市街地等の利用計画決定と交通網の整備、防災拠点等施設整備と公共施設の適正配置、ニュー・ツーリズムの推進、人材育成・教育支援事業及び特徴的的事业です。

○議案第6号 平成30年度小千谷市ガス事業会計予算について
 ガスの年間供給量は前年度と比較して3.4%の増を見込み、収益的収入及び支出の収支差引額は3069万7千円の計上となります。主な事業はガス管耐震化事業等です。

○議案第7号 平成30年度小千谷市水道事業会計予算について
 年間総給水量は前年度比1.2%の減を見込み、収益的収入

民生産業委員会

及び支出の収支差引額4075万9千円の計上となります。主な事業は配水管耐震化事業や小千谷浄水場更新事業等です。

○議案第8号 平成30年度小千谷市工業用水道事業会計予算について

年間総給水量は前年度比と同量と見込み、収益的収入及び支出の収支差引額1142万6千円の赤字計上となります。主な事業は工業用水道施設更新事業等です。

○議案第9号 平成30年度小千谷市下水道事業会計予算について

年間有取水量は前年度比0.9%の減を見込み、収益的収入及び支出の収支差引額は4億5249万4千円の計上となります。主な事業は農業集落排水処理施設更新事業等です。

○請願第1号 高速バス十日町―新潟線の存続を求める請願について

本請願は、このバス路線が非常に重要な交通手段として、今後も運行を存続するよう新潟県に意見書を提出いただきたいというものです。

本委員会に付託されました議案22件について、慎重に審査した結果、原案の通り可決すべきものと決しました。

○議案第2号 平成30年度小千谷市国民健康保険特別会計予算について

本案は歳入歳出の総額をそれぞれ33億1899万1千円とするものです。

○議案第3号 平成30年度小千谷市介護保険特別会計予算について

本案は歳入歳出の総額をそれぞれ37億5336万8千円とするものです。

○議案第4号 平成30年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

本案は歳入歳出の総額をそれぞれ7億5509万円とするものです。

○議案第5号 平成30年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について

本案は歳入歳出の総額をそれぞれ3億5735万2千円とするものです。

○議案第11号 小千谷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び

運営に関する基準等を定める条例の制定について

本案は介護保険法の改正において、新たに当市が指定権者となるための条例を制定するものです。

○議案第12号 小千谷市妊産婦医療費助成に関する条例の制定について

本案は母子保健の向上等妊産婦医療費助成に関する条例を制定するものです。

○議案第18号 小千谷市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は所得税法の改正に伴い引用する条項中の名称を改めるものです。

○議案第19号 小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本案は法律の改正に伴い、引用する条項を改め、字句の整理をするものです。

○議案第20号 小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は対象年齢を満18歳まで

とし、保護者の経済的負担を軽減するものです。

○議案第21号 小千谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は改正する法律の施行に伴い、県が財政運営の責任主体となり市が県に保険税を納付する仕組みに見直され、それに伴い保険税率の見直しを行うものです。

○議案第22号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第23号 小千谷市国民健康保険給付準備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第24号 小千谷市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第25号 小千谷市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第26号 小千谷市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条

例の制定について

○議案第27号 小千谷市後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

以上の6議案は法律の改正に伴い条例の一部を改正するものです。

○議案第28号 小千谷市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について

本案は法律の改正に伴い、策定した基本計画の規定を改正するものです。

○議案第29号 小千谷市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第30号 小千谷市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について

本案は既存条例の改正に伴い法律の用途区域を変更するものです。

○議案第31号 小千谷駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について

本案は政令の変更に伴い、道路占用料を改めるものです。

○議案第31号 小千谷駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について

本案は条例の一部改正に伴い

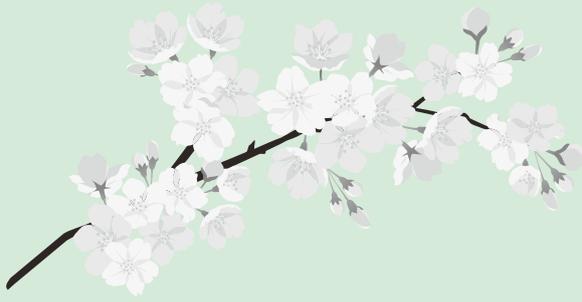
占用料を改めるものです。

○議案第33号 平成29年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について

本案は一般会計繰入金を増額し、基金繰入金を減額するものです。

○議案第34号 平成29年度小千谷市工業団地事業特別会計補正予算(第1号)について

本案は平成29年度中工事費の執行が困難になり工事請負費等を減額するものです。



市政の内容を聞く

一般質問

生活保護行政とコンパクトシティ・プラス・ネットワークについて

阿部 正行議員

生活保護行政について

質問 窓口対応について。

答弁 相談者が相談し易いように担当ケースワーカーが接遇マニユアル等に基づき、相談者に寄り添った面談を行っている。

質問 生活指導について。

答弁 専任のケースワーカーが定期的に家庭訪問により生活状況を把握し、自立に向けた支援を行い、その人に見合った支援に努めている。

質問 ハローワークとの連携について。

答弁 ハローワーク長岡と協定を締結し、生活保護受給者等就

労自立促進事業を実施。就労に向け一体的に取り組んでいる。

質問 指導と助言について。

答弁 ギャンブルについては、生活保護の目的から望ましくないので差し控えるよう指導助言している。

質問 コンパクトシティ・プラス・ネットワークについて

質問 立地適正化計画立案以降の進捗状況について。

答弁 現在の具体的な取り組みは図書館、健康センター等の公施設整備計画を進めている。

質問 公共施設の統廃合と回遊空間の整備について。

答弁 小千谷市公共施設等整備計画を基本に個別に計画を進めており、回遊空間については健康寿命を伸ばせるような「まちなか」の整備に努める。

質問 市全域のネットワーク構想の整備について。

答弁 循環バスの効率的な運用と中心市街地をハブとして、それぞれの地域の核となる場所を結ぶ公共交通網を整備する。



中小企業振興基本条例・小規模農家の施策

内山 博志議員

質問 中越大地震で市役所職員、病院、中小企業、地域住民は救援に大きな役割を果たした。東

日本大震災でも地域貢献型の企業や地域住民が復旧、復興などに大きな役割を果たした。政府は、少数の多国籍企業の利益を最優先させるTPP、FTA、EPA条約を進め、市の物品調達・サービス、建設工事への外国企業の参入が懸念され、地域を大変な困難が襲おうとしている。これを防ぐバリアの役割を果たすと期待される中小企業振興基本条例、公契約条例制定で地域内経済循環の構築、地域の再投資力強化が求められると思うが。

質問 当市の中小企業は、地域経済や雇用を支える大きな役割を果たしている。基本条例については、市議会民生産業委員会と協議し、引き続き研究している。推移を見守りたい。

質問 平成27年調査によれば、市内農産物総販売額200万円以下の農家が77%占める。地域の文化、環境などの維持にしっかりと役割を果たしている小規模農家。この多くは、採算割れというのが現状で、農機具が壊ればやめるという農家が多く、現状を長くは維持できない。これまでの経過を見ても簡単に経営の集積はできない。丁寧に農地を守り、農地利用を高めてきた小規模農家にも張り合いの持てる施策を行い、農業の衰退に歯止めをかけるべきではないか。

答弁 個々の農家支援ではなく、地域ごとの農業機械の共同化、集落営農組織化や法人化を進めていくことが重要と考える。



児童福祉法改正に伴う 事務取り扱いについて

佐藤 隆一 議員

質問 児童福祉法の改正に伴って、里親などについての自治体業務も変化しています。小千谷市では、児童相談所を通じて委託された子の住民票続柄を「同居人」としていますが、その根拠について明らかにしてください。

答弁 小千谷市では近隣自治体と同様に、血縁関係がない同一生計の場合については、戸籍の続柄に基づいて「同居人」と表記しています。

質問 総務省「住民基本台帳事務処理要領」では、実子、養子の区別なく、個人情報保護の観点から同じく「子」と表記することとなっていますが。

答弁 戸籍上は「子」と表記することにありますが、住民票は近隣自治体と同様に「同居人」としています。

質問 里親制度は日々の生活を共にするなかで「家族」のあり方を模索する試みではないかと考えますが、所感をお聞かせします。

答弁 「家族」のあり方を模索

する試みかどうかは判断しかねますが、良好な環境のもとで養育されることが重要と考えます。

質問 登録里親数が停滞するなかで、民生児童委員などへの周知に努めるべきではないでしょうか。

答弁 里親制度に関する業務は新潟県下の各児童相談所の管轄業務です。これまでも、里親制度の紹介や相談窓口での対応に勤めました。ご指摘のように民生児童委員への周知についても積極的に取り組んでまいります。

小千谷市名誉市民の 顕彰等について

山賀 一雄 議員

質問 名誉市民の功績を称える措置について。

答弁 市勢要覧やホームページ等で紹介しているが、折に触れて業績などをパネルで紹介する機会を増やしていきたい。

質問 名誉市民の胸像を建立することについて。

答弁 建立及び常設展示の考えはないが、周年的に顕彰すべきと考えている。

質問 これまで名誉市民の対象候補を選定、検討する経過について。

答弁 名誉市民の候補者を検討した経過はなく、議会に諮るまでには至っていない。

質問 西脇順三郎記念室の人員体制に支障がないのか。

教育長答弁 西脇順三郎に精通している人材は、全国的にも少ない現状であることから、人材育成等を含めて対応策を検討する。

質問 西脇順三郎を偲ぶ会をどのように評価、理解しているか。

教育長答弁 西脇順三郎記念室来訪者への対応や講演会の開催

等多くの活動を通じて、西脇順三郎の功績を紹介するなど、多大な貢献があり感謝している。

質問 旧小千谷総合病院跡地整備計画における西脇順三郎記念室設置の進捗状況と偲ぶ会との関わりについて。

教育長答弁 図書館及び（仮）郷土資料館の基本計画を策定中であり、必要な段階で、偲ぶ会の意見を聞き、取り組んでいく。

質問 西脇順三郎を偲ぶ会への支援について。

教育長答弁 偲ぶ会は任意団体であり、自主的な活動は尊重するが、西脇順三郎を顕彰するうえで重要な団体と考えており、連携するとともに市としての関わり方や支援について検討していきたい。

当市の観光振興と アレルギー疾患対策

住安 康一 議員

質問 外国人旅行者に関するデータの収集や調査・分析をするべきと考えるが。

答弁 まずは市の観光施設で来場者数の把握に努めるほか、地域経済分析システムによるデータを参考にします。

質問 観光振興にとって核となる人材の育成をどのように進めていくのか。

答弁 広く観光に携わる方に各種セミナーや研修会の情報提供と参加を呼び掛ける。必要に応じて専門家の活用を検討する。

質問 観光振興を推進する上で、当市のかじ取りを担う組織、推進力となる組織について伺う。

答弁 官民一体となって取り組んでいく必要がある。どのような組織づくりが必要か研究する。

質問 （仮称）健康・子育て支援センターを福祉避難所とし、アレルギー疾患についての相談対応も必要と考えるが。

答弁 福祉避難所に指定し、子どものアレルギー対応食を備蓄する方向で検討する。

質問 避難所運営マニュアルについて、アレルギー対応の内容を充実すべきと考えるが。

答弁 申し出により避難者名簿に記載することで状況を把握し、食料配布の際に配慮するように避難所マニュアルを修正したい。

質問 点検や評価を定期的に実施する内部監査が必要では。

答弁 常に複数の目で確認、記録の管理を行っており、特に問題はなし。内部監査は行わない。

質問 適切な情報を提供するた



めの取り組みの充実が重要では。
【答弁】 市のホームページと先導機関のホームページでリンクを貼る方式や、必要に応じて広報誌等を活用し情報提供を進める。



学習指導要領の改訂について

佐藤 栄作 議員

【質問】 小千谷市の学習指導要領に対しての現在の進行状況と取り組みについて。

【教育長答弁】 各学校において、新学習指導要領に照らした教育課程の見直しや、新たな年間指導計画の作成等を現在進めている。今年度から特別の教科道德部会及び小学校外国語部会を新設し、各学校の教育課程の在り方について、情報交換を行っている。

【質問】 地域性を生かした学習内容はどのようなものがあるのか。

【教育長答弁】 各学校では、地域の自然、文化、歴史、産業及び人々の生き方等を学ぶ学習に取り組むことで、地域資源や地域人材を活用した教育活動を、社会科や総合的な学習の時間等を活用して行っている。

【質問】 アクティブ・ラーニングについて対応できているのか。

【教育長答弁】 各学校において、今までの教育活動の中でも重要なこととして取り組んでおり、さらに、学習指導方法の改善を通して、「主体的、対話的で深い学び」の充実に努めていく。

【質問】 知的創造教育について小千谷市の対応について。

【教育長答弁】 各学校において、知的創造教育が重要なものであると認識しており、これからも、自らの創造性を育みながら、他者との違いを認め、尊重して、互いに学び合う学習を進めていく。

克雪都市について・錦鯉のまちについて

久保田 陽一 議員

【質問】 市民の冬の苦しみ、負担軽減のために克雪対策事業の拡

充や新たな取り組みが必要では。
【答弁】 現時点では除雪作業のさらなる拡充は厳しいと考えている。市の財政運営全般を考慮する中で消雪パイプの補助率の拡充については当面、現行制度を継続すべきと考えており、流雪溝のグレーチングについては財政状況に留意しながら対象世帯の拡充について検討したい。

【質問】 除排雪区間や除排雪による渋滞情報を市のホームページなどで市民に提供できないか。

【答弁】 作業の情報を提供することは市民にとって有益であると考え。関係機関と協議を行いたいと考えている。

【質問】 糞生揚水機場の取水障害解決に向けての動きは。

【答弁】 小千谷維持管理事務所に要望し、河床掘削等の対策を講じていただいた。表沢川放水路の信濃川合流点が糞生揚水機場と近接していることから、その工事に合わせた揚水機場の改築等を強く要望してきた。本年度及び平成30年度の2カ年で予定している東小千谷地区流雪溝用水現況調査の結果をもとに水利権更新及び糞生揚水機場改築等のバックデータとして県に提供し、取水障害解消に向けた動きを進めたい。

【質問】 世界で一番の錦鯉のまち、錦鯉いっぱいなのまちの具体案について。

【答弁】 「錦鯉カラーのランドセルカバー」については黄色のカバーが定着しているため、紅白などの錦鯉カラーに変更する考えはないが、「ミニ錦鯉のぼり」の作製等については、今後の取組の参考にさせていただく。



少子化と中学校部活動の在り方について

大矢 弘光 議員

【質問】 現時点での人口減少対策事業の手応えを伺う。

【答弁】 総合戦略では平成31年度280人の出生数を目標とするが、平成27年度は239人、平成28年度は231人という状況。将来を見越した息の長い少子化対策の展開が重要と考える。

【質問】 「あくまでも生徒の自主的、自発的活動である」という文部科学省の部活動に対するス

タンスについて見解を伺う。
【教育長答弁】 生徒の心身の成長に重要な視点であると認識している。各学校の状況に応じ、正規の教育課程に無理が生じないように部活動を行うことが大切であると考える。

【質問】 教育活動として今後の団体競技の在り方。市内大会の開催、大会形式の方向性について。

【教育長答弁】 団体で行う部活動が困難な状況もでてきているが、生徒の希望する部活動をできる限り実施していくよう努める。大会運営の在り方について、部活を巡る様々な状況を考慮しながら改善を加え取り組んでいる。

【質問】 部活動を地域のクラブ活動に移行する場合の問題点は。

【教育長答弁】 指導者の確保、財源の確保、保護者負担の増大など。現段階では各学校の状況に合った部活動運営を行っていく。

【質問】 有望なチーム・選手の育成と支援について。

【教育長答弁】 各種大会や合宿等の遠征費、指導やコンディショニングを受ける経費等に対する補助事業のほか、地域ジュニア競技アスリート育成事業、ジュニア選手強化育成事業を12競技種目で実施中。今後も市体育協会、関係団体と連携し、トップア

スリートの輩出や支援に努める。



女性・若者活躍推進 施策を積極的に

長谷川 有理 議員

質問 4月より「障がい者法定雇用率引き上げ」改定されるが、

答弁 現状は達成しているが、引き上げを受け止め、法定雇用者確保するようにしたい。

質問 女性の障がい者の採用を

答弁 採用は男女の差別なく行っている。

質問 当市職員の女性活躍の職場改善を進め、仕事と家庭の両立支援、育児や介護支援、パワハラ、セクハラ等対策は出来ているのか。

答弁 特定事業主行動計画等、順調に目標へ推移しており、両立支援等も課題はないと認識。

質問 県内19消防本部中、女性署員を採用していないのは、当市と加茂市の2市のみ。課題は、

答弁 男女分けることない採用をしている。積極的に応募してほしい。

質問 全国的な看護師、保育士不足等から、保育士、保健師、助産師、看護師、准看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士等を目指す若者への奨学金の創設、貸与を受けた自治体で所定期間以上の勤務をすれば貸与された学費は返還免除する制度導入が図られている。医療・福祉現場で働くことを目指す方を支援し、専門資格を持つ若者が市内で働くことを支援する仕組みづくりを行うべき。返還分を自治体や地元企業が肩代わりし、地元への若者の就労を通じ、地域経済を活性化する奨学金返還支援制度の創設を願う。

質問 人材不足・労働力の確保は企業にとっても課題。専門職の市内定着も含め原資を増やす努力として産業界との連携を図るべき。

教育長答弁 原資を増やす努力は必要。小千谷奨学会で提案する。

地域づくり・子育て ・原発再稼働関連

駒井 和彦 議員



質問 市民協働条例を制定すべきではないか。

答弁 意識の広がりを見定めて検討していきたい。

質問 地域運営組織設立に向けたロードマップをどう考えているか。

答弁 地域づくり支援員が担当する3地域がモデル地域になることを期待する。先行する地域については、各地域の動きを見ながら判断していく。

質問 ミルク代等具体的支援で子育て支援を充実させては。

答弁 実施予定のニーズ調査報告をもとに検討したい。

質問 図書館を核とした複合施設の整備着手までのスケジュールは。

答弁 事業手法の決定後、30年度解体設計、31年度解体着手、33年度中に施設供用開始を目指す。

したい。

質問 当市の特色を生かした施設整備について

答弁 基本計画を踏まえ、民間事業所のノウハウを導入しながら今後検討していく。

質問 この整備により、中心市街地をどう活性化していくか。

答弁 他の施設やイベントと連携し、回遊性を向上させることを中心に適時施策を立案していく。

質問 原子力緊急事態時の職員の健康被害を防ぐ方策は。

答弁 県より職員相当分の防護用品が貸与されている。

質問 複合災害時の職員体制は十分か。

答弁 当市職員だけでは不十分であり、国や県と連携していく。

質問 原発再稼働についての市長自身の考えは。

答弁 原子力発電は国策であり、国レベルで議論すべき。

フードデザート 問題・少子化対策

森本 恵理子 議員

フードデザート問題

質問 食の砂漠と言われるフードデザート。一番の問題は生鮮食料品が手に入らないことによる「栄養の偏り」が生じること。買い物弱者支援などの事業者と提携することにより見守り体制の充実も図れると考えるが、市長の見解を伺う。

答弁 食の自立支援は重要。事業者に対して、より具体的な対応についての可能性を探っていく。

二十代向け少子化対策

質問 今後の少子化対策は「結婚したい人」を増やすことが大事。二十代の恋愛観・結婚観・子育て観などの意識調査、二十代向けイベントなどによる出会いの場を創出してはどうかと考えるが、見解を伺う。

教育長答弁 意識調査を行い把握することは重要であり、ワークショップなどの中でも意見を聞いていく。イベントもPRし、参加しやすい環境づくりに努める。



若年層からの意識啓発による少
子化対策について

質問 赤ちゃんとのふれあい交
流会事業の効果、今後について。

答弁 中学生を対象に赤ちゃん
とのふれ合いや親と交流するこ
とで自分が将来、親となること
を考える機会を提供している。

質問 継続した事業の実施に努める。

質問 今の子どもたちが大人に
なった時、他人と向き合うこと
を面倒と思わずに恋愛するには
幼少期・学童期から積極的にあ
らゆる世代と関わり、自らの五
感で感じることが重要。子ども
たちの体を動かした外遊びの場
づくりや自然体験等の機会の提
供に対する認識は。

教育長答弁 学校行事などで設
けられているが、今後も継続し
ていく。



議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。
本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。

(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日
等)を除く5日後から1年間ご覧いただけます。)
パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご
覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。
パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

(平成30年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。)
一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



市議会を傍聴してみませんか

第2回定例会日程

6月1日(金)	第1日	議案上程説明
6月4日(月)~6日(水)		各常任委員会で審査
6月19日(火)	第2日	一般質問
6月20日(水)	予備日	一般質問(質問者が多い場合に開催)
6月22日(金)	最終日	委員長報告、採決



※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については
議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。

委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

〈1月〉

- 4日 議会報編集委員会
- 12日 議会報編集委員会
- 18日 議会改革検討委員会
- 26日 議員協議会
- 〃 議員全員協議会

〃

〃 本会議（第2日）
〃 本会議（第3日）
〃 議会報編集委員会

〃

20日

〃 議会運営委員会
〃 本会議（第4日）
〃 市民会館視察

27日

〃 議会改革検討委員会

〈2月〉

- 5日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京都）
- 9日 県市議会議長会春季定期総会（見附市）
- 13日 議会改革検討委員会
- 15日 全国市議会議長会評議員会（東京都）
- 16日 議員協議会
- 〃 民生産業委員協議会
- 〃 手話言語条例策定委員会
- 20日 議会運営委員会
- 27日 第1回定例会（本会議）
- 28日 議会報編集委員会
- 〃 常任委員会連合審査会

〈3月〉

- 1日 常任委員会連合審査会
- 2日 常任委員会連合審査会
- 6日 総務文教委員会
- 〃 総務文教委員協議会
- 7日 民生産業委員会
- 15日 議会運営委員会



70



高橋 幸一（平沢）

万灯応援団について

平成16年の忘れもしない中越地震では、多くの人々が大変な苦しみを経験しました。当時はこの世の終わりを覚悟したものでした。

震災から2年後、あまりにも活気を無くした町内に何とか元気に活力ある町内に取り戻したく、仲間と真剣に考えた時期でした。市商工観光課や青年会議所等の要望や協力もあり、町内より万灯を出して元気を取り戻そうと、若い人々を中心とする組織づくりに取り組みました。

若い世代のつながりは想像以上に強く、瞬く間に大きな輪は出来上がりました。勿論、小学校PTAも加わっての素晴らしい組織ができたのです。資金も経

験もない中で立ち上げでしたが、町内の皆さんの御理解を得ながら子どもたちを中心とした「こいこい万灯」で初陣を飾りました。以後、今日まで平沢成年部輝志会として素晴らしい引き万灯を制作し、市民の皆様より絶大な声援をいただいております。又、お囃子においてもメンバーの作曲で毎年オリジナル曲を作り、斬新なお囃子で楽しんでいただいております。

当初立ち上げに携わったメンバーにて、平沢万灯がいつまでも続くようにとの思いで万灯応援団を結成し、輝志会に物心両面にわたり、できる限りの応援をしようとして頑張っています。祭りには、一緒に参加して楽しんでいきます。表に出ることなく縁の下で力持ちとして精一杯応援しています。我々もこの活動が心の張り合いとなっています。

「生みの苦しみは終わっても、今これを育て上げる努力が求められています。生み出すことは大変なことですが、それを維持して育てることはもっと大事なこともありません。いつもこの言葉を心に刻んで、今後も平沢万灯が益々盛り上がることを願って、今後も活動を続けていきます。

編集後記

今冬は、例年になく厳しい寒さと豪雪、長く雪国に住む私たちとしても身にこたえる冬でした。しかし、待ちに待った春はましがいなくやって来ました。

小千谷市は、1986年12月23日に「非核平和都市宣言」を決議し、核兵器廃絶と世界の恒久平和を目指すという宣言をしています。今定例会で、昨年7月国連で採択された「核兵器禁止条約」を唯一の被爆国の国民として政府に調印を求める意見書を市議会として採択しました。何れともあれ平和であってこそその生活ではないでしょうか。

これからも、市民の平和と福祉を向上させるために市民の皆さんと力を合わせ前に進んでいきたいと思えます。

編集委員 内山博志

